

地域の商店街で子どもたちがお手伝い ~ 子どもインターンシップ ~

文部省では、「全国子どもプラン」の一つとして、子どもたちが様々な職業に触れたり、働くことの大切さを学ぶことにより、夢や希望を抱いて、自分の将来について考えるきっかけを提供していこうというねらいで、文部省と通商産業省・中小企業庁との共同プロジェクトとして、全国商店街振興組合連合会や(社)日本PTA全国協議会、(社)全国子ども会連合会の協力を得ながら、「子どもインターンシップ」を実施します。

この事業は平成11年度からの新規事業ですが、下記の二つの商店街において先行的に実施しました。

- ・ 台東区の谷中銀座商店街(谷中小学校PTA)
平成11年2月27日(土)・3月13日(土)の2回
小学4~6年生各回11人
- ・ 品川区の戸越銀座商店街(戸越台中学校PTA)
平成11年2月27日(土)
中学1・2年生21人

それでは、実際に参加した子どもたちの様子はどうだったでしょうか？
お店の方に聞いてみました。

(薬局で)

機械で粉薬を自動的に小袋に詰めていく作業を体験し、感激していました。薬を買うだけでなく、いろいろな用事で店に来る人が多いことに驚いていました。商品への値札付けやレジ打ちなどを体験しました。

(ケーキ屋で)

ぎこちない手つきでケーキを箱に詰めていました。ケーキの形を崩さないようにずいぶん緊張していたようです。お店の人に温かく見守られ、声をかけていただきながら、「いらっしやいませ」「ありがとうございました」が、時間とともに少しずつ大きくなりました。

(花屋さんで)

一生懸命にバラのとげを取っていました。そのバラが売れたときにはとってもうれしそうでした。自分の努力が報われることを実感できた瞬間だったと思います。花屋さんというと華やかなイメージがあったようですが、いろいろな大変さがあることに気付いたようです。

(おもちゃ屋さんで)

商品を陳列するときどんな工夫をしているのかなどを学びながら包装のお手伝いなどをがんばっていました。

(本屋さんで)

雑誌に付録をはさんだり、文庫や新書などの帯をはずすなど、思っていた以上にいろいろな仕事があることに驚いていました。本の整とんなど一見地味な作業が多かったようですが、「ものを買っていただく」ということがどういうことなのか、体験を通じて実感できたようです。



第2回実践 キミたちの未来につなぐ 土曜学習

商店街の一日体験

レッツ!チャレンジ!

谷中銀座商店街と台東区立谷中小学校PTAでは文部省のモデル指定を受け、小中学生が広く商店街で商店の仕事を体験する「子供インプテンツ」を全国で初めて実施する。これは文部省や中小企業庁が平成10年度のプロトタイプとして企画で2ヵ所を指定、子供たちに働くことの大変さや喜びを体験して貰い、新しい仕事の仕方を身につけたり、自分の得意分野について考えたり、社会の仕組みを知りてもらうことを目指す。また、2002年度からの学校週5日制の完全実施など生まれる子供たちのゆとりを、楽しい・テレビゲーム等、今までの休日の概念から脱し、有効に生かすのも一つの大きな目標。

地域の方々と一緒に、子供たちの体験を通しての人間形成を谷中銀座商店街は応援します!

★文部省モデル指定・谷中小学校PTA 共催
平成11年3月13日(土)
 ◆学習時間:午前10~12時 午後1~3時
 ◆学習 自由(ペーパーが目印です)。
 協力:中小企業庁・全国商店街振興組合連合会

子供達の「おべんこ」を体験して貰います。

谷中銀座商店街は21軒ある中で、こんな基店街をめざします。

人に優しい 来て見て楽しい 子供達の休日

文部省 モデル指定

谷中銀座商店街

